

# ふるさと見て歩き

## 長倉の七夕

第3回



◀平成十五年の七夕祭り

旧御前山村長倉地区では、市内で唯一七夕祭りを開催しています。今回はこの取り組みについてご紹介します。

### ◆イベント化した民俗行事

「七夕祭り」といえば仙台市や平塚市が有名です。始まりの時期は地域によりまちまちですが、全国的にみて、現在のような豪華な飾り付けをするようになったのは戦後のことです。昭和二十年代の復興に伴い拡大し、お中元商戦の影響でイベント化して広まっていったようです。

七月七日を牽牛星と織女星が年に一度出会う日として、笹に短冊などの飾り付けをすることは古くから各家庭で行なわれてきました。また、市内のい

くつかの地区では昭和二十年代から三十年代にかけて竹飾りを通りに飾りつけて七夕祭りをしたというお話が今でも聞かれます。上小瀬地区の七夕飾りは各商店が吹流しなどの華麗な飾り付けを競い合う祭りとして、昭和五十年頃まで行なわれていました。しかし、他の祭りと同様、七夕祭りも若手の後継者不足と財政的な負担などの面から廃止する地域が多くなり、市内では長倉地区のみとなっていました。

### ◆静かな町の一大イベント!

長倉地区の八月の風物詩として七夕まつりが始まったのは昭和二十八年頃です。当時長倉にあった合資会社「合同」の店先に宣伝用の竹飾りを置いたのがそもそもの始まりのようです。その後、地元の有志の方々によって、「七夕協賛会」が結成され、毎年長倉の宿通りで七夕まつりが開催されています。壮麗な竹飾りは地元の商店や学校、個人の方が出品し、コンクール形式で競い合われます。昔はそれぞれ手作りでアイデアをしばったようですが、今では手作りする出品者は少数に



▲昭和30年頃の七夕祭り

なっていました。古くから舟運で栄えた長倉は、今こそ昔の面影を残す静かな町並みとなっていますが、県北地区においてはいち早く常陽銀行の支店ができ、映画館「長倉座」に客がつめかける、賑やかな町でした。この一帯は古くから葉たばこの生産が盛んで、その収納所が長倉にあつたため収納の時期は市が立つほどの賑わいだつたといえます。葉たばこと引き換えに現金を手にした農家の人々は、長倉の宿通りで思い思いのものを購入したり、料理屋に立ち寄って日々の疲れを癒したことでしょ。また、長倉には炭坑もあり、各地から坑夫が集まったといえます。「昔は長倉で花嫁道具が一式揃えられた」という話は今でも地元の人々の自慢です。今年五十三回目を迎える長倉の七夕まつりは、八月六日(土)に開催されます。山里の夏の宵のひととき、竹飾りが織り成す幻想的な風景を是非ご覧ください。(歴史民俗資料館)

## 市内☆夏のイベント～お出かけください～

- 7/30 第15回花立山星まつり  
(花立自然公園・美和物産センター「北斗星」)
- 8/14 第52回御前山納涼花火大会 (那珂川大橋付近河原)
- 8/20 第23回あゆの里まつり (清流公園付近)  
美和ふるさとまつり (美和運動公園)
- 8/21 那珂川水まつり (那珂川大橋付近河原)

